道路詳細設計照査要領 (平面交差点、小構造物を含む)

平成19年11月 千 葉 市 建 設 局

道路詳細設計

基本条件の照査項目一覧表

(照査①)

業	務	1	名	:	
発	注	機	関	:	

受託者名:

照査の日付:

	総括監督員	主任監督員	監督員
発注者印			

	印	
Į		

	主任技術管理者	担当技術者	照査技術者
受注者印			

			直路詳細設計
No	項目	主 な 内 容	提示資料 照査① 照査の 備 考 対象 照査 日付 照査結果・補足資料等の記載
1	設計の目的、主旨	1) 目的、主旨を理解したか。 2) 地域構想等に関する上位計画を把握したか。 3) 設計の主な項目、工程等について具体的内容を把握したか。	業務計画書 □ □ □
2	貸与資料の確認	1) 貸与資料の不足、追加事項があるか。	業務計画書
3	現地踏査結果	1) 地形、地質、用・排水、土地利用等現地状況を把握したか。2) 交通状況、道路状況、河川状況を把握したか。3) 沿道の環境状況(日照、騒音、振動等)を把握したか。4) 支障物件の状況を把握したか。(地下埋設物を含む)5) 施工時の留意事項を把握したか。	現場写真他
4	設計条件	 1) 道路規格を確認したか。 2) 設計速度を確認したか。 3) 計画交通量を確認したか。 4) 横断面構成を確認したか。 5) 適用基準を確認したか。 6) 関連する設計と整合がとれているか。 	業務計画書
5	施工区分	1) 暫定施工時の施工区分を把握したか。 2) 現道拡幅時の施工区分を把握したか。	業務計画書 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
6	幾何構造、線形条件	1) 平面及び縦断の設計値は適正か。 2) 幾何構造の使用値は適正か。 3) 橋、トンネル坑口等の取合いを配慮したか。 4) 幅員構成は適正か。(標準幅員、積雪寒冷地との整合)	報告書
7	用地条件	1) 用地上の巾杭表はあるか。	設計図書 □ □ □
8	土工及び法面工	1) 土質定数の設定、湧水状況等の把握は適正か。2) 法面勾配等は適正か。3) 地すべり等の切土部安定検討は適正か。4) 切土材料は盛土材料に転用できるのか。5) 特殊法面工の必要性はあるか。	報告書

	ı							H77 —	- 0	n n + 0	<u> </u>
No	項	目	主	な	内	容	提示資料	照 3		照査の	
			o) [=		1,11,,1,, 1			对象	照査	<u> 日 1寸</u>	照査結果・補足資料等の記載
			6) 土砂の処理場及				"				
			7) 環境や景観に関	して考慮している	るか。		IJ	Ш			
9	軟弱地盤		1) 軟弱地盤対策に	は適正か。			報告書				
			2) 盛土の施工期間]及び施工方法(迂回路計画等)	は決まっている	IJ				
			3) 基本盛土施工厚	国と施工工程との/	バランスがとれて	こいるか。]]				
				と施工時及び完成							
			4) 残留沈下量と交				"				
			5) 地質調査は目的				IJ				
			6) 盛土材の土質計				"				
			いるか。	マラン・マングラング・	よに、しり工具	(元数(よ)に)注して	,,				
			7) 計画線形(平面、	総帐計画)の目	古し なるいけん	hの様迭(吉加역)	11				
					但し、 <i>め</i> るいいまれ	四/押垣(同米寺)	"	ш			
			が考えられない。		7 .						
			8) 環境、用地に対				"				
			9) 置き換え残土の				"				
			10) 側方流動の影響	学を受ける構造物	(擁壁、橋台等)	はないか。	"				
								_			
10	函渠工		1) 標準設計の適用				報告書				
			2) 同上を適用しな		算が必要か。		"				
			3) 自動設計の適用				IJ				
			4) プレキャスト製品	の適用方法は適	正 か。		IJ				
			5) 施工条件を考慮	しているか。			"				
			6) 縦断方向のすべ		は必要か。		IJ				
			7) 踏掛版の要・不		3,2 3,7 0		設計図書				
			8) 防護柵の要・不		断面の再確認)						
			9) 土被りの条件は			音形での烁而亦	報告書				
			化は考慮してあ		/ 久 Li M - 八 C V - [i	ョルマザ田及	甘以口亩				
			10) 土質定数の決定		らているか		"				
			11) 地盤条件(支持			*	,, ,,				
							**				
			12) 設計計算の条件	ては女ヨか。 計算	九辺週用は傩記	でられて (^) つか。	報告書				
			(プログラム等)	*			_				
			13) 適用する設計基	: 準は確認されて	いるか。		"				

			<u> </u>
No	項目	主 な 内 容	提示資料 照査① 照査の 備 考 対象 照査 日付 照査結果・補足資料等の記載
	擁壁工	 所要高さ決定の根拠は適正か。 型式選定の根拠は適正か。 線形の変更、用地の利用等によって擁壁の規模縮小が可能であるかどうか工夫したか。 標準設計の適用方法は適正か。 同上を適用しないときは応力計算が必要か。 自動設計の適用方法は適正か。 プレキャスト製品の適用は適正か。 用地境界までの余裕幅を確認したか。 土質定数の決定根拠は明確になっているか。 基礎型式選定のための地盤条件は整理されているか。 現道交通、隣接家屋への影響を配慮したか。 全体的なすべりの安定性は確認したか。 会体的なすべりの安定性は確認したか。 設計計算の条件は妥当か。計算式の適用は確認されているか。(プログラム等) 適用する設計基準は確認されているか。 	設計図書 報告書 """" 設計図書 報告書 """"""""""""""""""""""""""""""""""
12	排水工	1) 流出量の算定は妥当か。 (集水域、流出係数、降雨強度、確率年、算定式) 2) 通水量の算定は妥当か。(粗度係数等) 3) 施設選定は妥当か。(経済性、施工性、機能性、計画性) ①パイプとボックス ②pcパイプ、ヒューム管及びコルゲート管 ③基礎型式選定の適否 4) 断面決定で余裕が見込んであるか。 5) 排水勾配(流速の許容範囲)は妥当か。 6) 最小土被りの設定は妥当か。 7) 協議関係は必要か。	報告書
13	排水処理	1) 用水系統は適正か。 2) 排水系等は適正か。 3) 流末位置は適正か。 4) 高さを表示した用排水経路図は作成したか。	設計図書

No	項目	主な内容	提示資料 照査① 照査の 備 考 対象 照査 日 付 照査結果・補足資料等の記載
14	舗装工	1)舗装種別及び構造の適用(交通量、設計CBR)に問題はないか。 2)再生材の使用は考慮されているか。 3)特別箇所(軟弱地盤、低盛土等)の路床改良の要否。 4)防護柵等道路付属物の配置及び規格は適正か。	報告書 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
15	小構造物	1) 標準設計の適用方法は適正か。 2) 重力式擁壁、ブロック積等を設ける理由、型式高さ等決定根拠 は明確か。 3) プレキャスト製品の適用は適正か。	報告書 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
16	関連道路 (側道、副道、取付交	1) 幅員、延長、断面等は適正か。 2) 沿道に対する高さ等の取合は考慮してあるか。 3) 舗装構成は決定しているか。	報告書 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
17	環境及び景観検討	1) 環境及び景観検討の必要性、範囲、コンセプトが理解されたか。 2) 環境及び景観検討の具体的方法、作成すべき資料等は明ら かとなっているか。	報告書 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
18	防雪対策	1) 雪崩、地吹雪対策は考慮されているか。	報告書
19	協議関連資料	1) 交差協議の調整は確認したか。 2) 地元及び地権者との調整は確認したか。 3) バス路線になるかどうか確認したか。 4) 地下占有企業者との調整は確認したか。 5) 保安林及び埋蔵文化財等との調整は確認したか。 6) 各県公害防止条例の適用区域及び規制値を確認したか。 7) 都市計画及び土地利用を確認したか。 8) 上位計画、開発行為及び電線類地中化を確認したか。 9) 土砂の処理場、または土取場の位置、規模は確認したか。 10) 休憩施設、チェーン着脱場等の計画は確認したか。	関連機関との協議
20 21 22	コスト縮減 建設副産物対策 電子納品	1) コスト縮減について検討したか 1) 建設副産物対策について検討しているか 1) 事前協議を行ったか。	コスト縮減調書 □ □ □ □ 報告書 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

(追加項目記入表)

<u>(</u> 退办	項目記入表)						
No	項	目	主	な	内	容	提示資料 照査① 照査の 備 考 対象 所査 日付 照査結果・補足資料等の記載
							対象 原質 日 1) 原質結果・補定負科寺の記載

道路詳細設計

細部条件の照査項目一覧表 (照査②)

<u>業務名:</u>	
発注機関:	

受託者名:

照査の日付:

総括監督員	主任監督員	監督員
	総括監督員	総括監督員 主任監督員

印	

	主任技術管理者	担当技術者	照査技術者
受注者印			

			直路詳細設調
No	項目	主な内容	提示資料 照査② 照査の 備 考 対象 照査 日 付 照査結果・補足資料等の記
1	協議関連	1) 協議は諸条件と合致しているか。	設計図書 □ □ □
2	施工計画	 1) 工区分けは適正か。(暫定施工の有無を含む) 2) 施工性に問題はないか。 3) 暫定施工の考え方に問題はないか。 4) 建設副産物の処理方法は適正か。リサイクル計画書を考慮したか。 	報告書
3	設計計算	1) 片勾配、拡幅のすりつけに問題はないか。 2) 用、排水の系統及び通水断面に問題はないか。 3) 既存、類似設計との設計条件、適用範囲を比較確認しているか。	設計計算書 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
4	数量計算	1) 数量算出要領により確認を行ったか。	数量計算書
5	土工及び法面	1) 切土断面の岩盤推定線は妥当か。2) 用地の余裕幅は適正か。3) 法面保護工の選定は適正か。(フロー図を作成しているか。)4) 切土材料と盛土材料への転用は適正か。	設計図書 " 報告書 "
6	軟弱地盤	 土質定数は整理されているか。 盛土工程は適切か。(一般盛土部、構造物、水路切り廻し等) 対策工の必要性と工種及びその範囲は適正か。 ①盛土安定対策 ②沈下対策 ③その他対策 サンドマットの厚さは施工性を考慮したか。 動態観測の計画は作成されているか。 暗渠排水計画(形状、間隔)は適正か。 沈下量を土量計算しているか。 用、排水路で沈下すると不都合なものはないか。ある場合はその対策。 	報告書

							1	H77 -	<u> </u>		<u> </u>
No		目	主	な	内	容	提示資料	<u></u>	至(2) 照査	照査の 日 付	備 考 照査結果・補足資料等の記載
	項 函渠工	目	1) 本体長、伸縮目 2) 軟弱地盤上に標 (杭基礎などのり 3) 沈下の大きい場 しているか。 4) 不等沈つつにはない 5) 斜掛版の形はない 5) 斜掛版の形とは 6) 踏掛版の選定に 8) 標準設計値さない 9) ハンチを付とない 10) ウイング厚と本の 11) 防水工は高さ	地の決定方法 構築される場合 場合) 所での特別の いか。 の考慮をしても 対適正から力を は強いたった は外場合、そのバランス はれているか。	は適正か。 の鉛直土圧係数 処置(段落ち防 のるか。(斜角部の ののか。) かったいるからはされているからはとれているか。	か。 かは考慮してあるか。 止枕等)は考慮 の設計方法)	設計図書 設計計算書 設計図書 報告書 設計図書 別計計算書 別計計算書	照		照査の日付	備考
8	擁壁工		12) 照明配管、排水チ 13) 配筒に対のに対している。 14) 管理打 15) 現準理打 1)標準壁面上的 2)標準壁面上間のの適は検定に 3)背目が大工基礎(がは、 6) 基直接基礎(がは、 6) 基直接基礎(がは、 10) 応力計算 10) 応力計算 10) 応力計算	は考慮はていてはまかれれていまではません。 はではまないかのはではません。 はではないでは、 はではないでは、 はではないでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、	いるか。 いか。(道路、水 分けはは 適面で がの方では さいの方では での方でで では での方でで では での方でで では でするでで でするが、でいるで でするが、でいるででで でするが、でいるででです。 でするが、でいるででです。 でいるが、でいるででです。 でいるが、でいるででです。 でいるが、でいるででです。 でいるが、でいるででです。 でいるが、でいるででです。 でいるが、でいるででできるできます。 でいるが、でいるででできます。 でいるが、でいるでできます。 でいるが、でいるでできます。 でいるが、でいるでできます。 でいるが、でいるででできます。 でいるが、でいるでできます。 でいるが、でいるでできます。 でいるが、でいるでできます。 でいるが、でいるでできます。 でいるが、でいるできます。 でいるが、でいるでは、これでできます。 でいるが、でいるでは、これでできます。 でいるが、でいるできます。 でいるが、でいるでは、これでできます。 でいるが、でいるが、でいるでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	るか。 適正か。) 斜面部での余裕幅 か。 件等)	" "				
			11) 配筋に対するチ	<u>エンン (よご4 し (</u>	v ·⊘//³°		設計図書				

No	項目	主	な	内	容	提示資料	照 3 対象	£ ② 照査	照査の 日 付	備 考 照査結果・補足資料等の記載
9	排水工	1) 排水施設相互 2) 安全対策(蓋、 3) 流末末河川のF 4) 排水系等をプレ 6) 設計区間外の 7) 既設水表示した 8) 高さを表示した 9) その他	防護柵等)は表でれているか。 IWLより下の場更していないか をキャストの使い 施設との取合し 付替えは、必要	き慮されているかったの対策が行れる。 か分けは適正か。 かは考慮されている。 でに応じ切廻しを	か。 われているか) いるか。 と検討してあるか。	設計図書 " " " " " "				
10	舗装工	1) 舗装工の設計 2) 段階施工ので 3) 再生材の使用 4) その他	きる設計となって	ているか。		設計計算書 報告書 "				
11	小構造物	1) 標準設計適用 2) その他	以外のものの応	ぶ力概略チェック	けはされているか。	設計計算書 "				
12	仮設構造物)仮設、構造物 、施工性、現地 -ビング、盤ぶく	掘削の工法) との整合、近接 れ等の検討をし	構造物との関係に たか。	報告書 " " "				
13	環境及び景観検討	1) 環境(騒音、振 2) 景観(植裁等)		は妥当か。		報告書				
14	コスト縮減	1) コスト縮減策が	提案されている	らか。		コスト縮減調書				

(追加項目記入表)

_(追)	<u>『項目記人表》</u>									
No		目	主	な	内	容	提示資料	照 査 ② 対象 照査	照査の 日 付	道路詳細設計 備 考 照査結果・補足資料等の記載
									2	然且和末。他是具有可以

道路詳細設計

成 果 品 の 照 査 項 目 一 覧 表 (照 査 ③)

未 伤 4 .	業	務	名	:	
---------	---	---	---	---	--

発注機関:

受託者名:

照査の日付:

	総括監督員	主任監督員	監督員
発注者印			

印	

	主任技術管理者	担当技術者	照査技術者
受注者印			

							
No	項目	主 な 内 容	提示資料	照 查 ② 対象 照	報告書指載箇所	照査の 日 付	
1	設計計算書	 打合せ事項は反映されているか。 安定計算結果は許容値を満たすか。 許容応力度の取り方は正しいか。 用、排水の流出量と通水量を照査したか。 隣接工区との整合はとれているか。 	設計計算書 " " " "				
2	設計図	1) 縮尺は契約図書と整合しているか。2) 打合せ事項は反映されているか。3) 構造物(函渠、擁壁等)の全体一般図に必要な項目は記載されているか。(設計条件、地質条件等)	設計図書 " "				
		4) 表現方法は適正か。 5) 解り易い注記がついているか。 6) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。	II II				
3	数量計算書	1) 数量計算は数量算出要領及び打合せ事項と整合しているか。 (有効数字、位取り、単位、区分等)	数量計算書				
		2) 数量計算に用いた寸法、記号は図面と一致するか。3) 数量取りまとめは、数量算出要領及び打合せ事項にあわせてまとめられているか。	IJ IJ				
4	施工方法の検討	 施工時の道路、河川等の切り廻し計画は適正か。 工事用道路、運搬路計画は適正か。 施工ヤード、施工スペースは確保されているか。 安全性は配慮されているか。 暫定計画、完成計画との整合はとれているか。 	施工計画書 " " " "				
5	設計調書	1)設計調書の記入は、適正にされているか。2)マクロ的(設計条件、幾何構造基準、構造物の寸法及び概略数量)に見て問題はないか。	設計調書				

No	項目	主 な 内 容	提示資料 照査③ 報告書 照査の 備 考 対象 照査 掲載箇所 日付 ^{照査結果・補足資料等の記載}
6	報告書	1) 打合せ事項は反映されているか。2) 条件設定の考え方が整合しているか。3) 比較、検討の結果が整合されているか。4) 工事発注に際しての留意事項が記述されているか。5) 設計基準値を技術指針等より引用している場合には出典図書名及びページを明記しているか。	報告書
7	建設副産物	1) リサイクル計画書を作成しているか。	リサイクル計画書
8	TECRISの登録	1) TECRISの登録を行ったか。	業務カルテ受領書

(追加項目記入表)

<u>(</u> 追加	項目記人表)										担 路計 相 設 計
No	項	目	主	な	内	容	提示資料	照査	報告書	照査の	道路詳細設計 備 考 照査結果・補足資料等の記載
INO	快	<u></u> ———	工.	'		4 1	100 小貝科	対象照	查 掲載箇所	日 付	照査結果・補足資料等の記載
]		
]		
]		
]		
]		
]		
]		
]		
]		
]		
]		
]		
]		
]		
]		
]		
]		
]		
]		
]		
]		
]		
]		
]		
]		
]		
]		
]		
]		
									ī I		
									j		
									ī I		
									i I		

道路詳細設計調書(その1) (1/2)

業務。	名									Ē	近 右	三地								託													点側							
路線。	名									1	事務	所名							È	€任±	技術	行者							,	施 丄	. 箇) [] []	点側							
延				長						·	親加	設	i o)	完成 区	t) 分							防 音 [§] 有	壁の	設	置 の 無						仁		施	設	の 無				
	į	道			路		ŧ	見		格	角	Ē		種	第		級		設書	速	度						kr	1/h		道	路	5.	}	類						
		計画	可交	ご通	量	(大	型.	車涯	記入 率	3)			-度						地垣	分	類								į	積 雪	寒》	令 地	の区							
	ſ											Ŀ							エ						部	ß			橋					ì	梨				部	
設計条件	7	横	岁	Ť	面	a	פ	構	成 "																															
幾	J	最	小	曲	絼	Į <u>3</u>	半 彳	圣							最	小曲	油 線	長.						b	最 .	小	視	<u> </u>						最小	緩和曲	∄線長-				
何構	J	最	急	縦	幽	r /	5	記							同	左	延	長.							最小	縦断	曲線县	÷						最 曲	小 線 半	新 4 径	<u>凸</u> 凹			
造	7	横		断		勾	Ē	記					片	勾配	2の最	大位	直				- 最	大合	成勾	配				 片 す	勾り	配 付	の率				登 要	坂車		の 否		
									盛		土		部	切		土		部						Ē	盚				土		切								-	±:
土		主	7	ځ	る		地	F	新										の	り)	勾	J	配						土		,	砂	軟		岩		硬		岩
	Ī								盛		=	土	切		砂」	ih.		岩	補	Ξ	上 岩				盛	Ž.	=	: 切	'	=	7		1	盛			土填	切		土
	(の	り	面	I	σ,	1 種	直 类	類						112	F A		4	吹		石	小↓	段の	幅	員						小.	段の	高さ							
エ	J	最	J	t	盛		土	Ī	前						最	大	切	<u>±</u>	· F	T)					軟防	放弱地 5 雪	盤対5 施	_ぎ 、地 設	すべの	り対 要 - 否	#R 1/1									
																																			% 下	設け	其消	値を記	入する	5- L

道路詳細設計調書(その2) (2/2)

舗	舗当	表 の	種	類	交通	通区分		1	設計 CBR	主要	盛	± ±	- 量		I	n ³	切 :	上 量	m^3	のり	面積	盛土	m^2
	舗	装	構	成		敗 般	の種類	上	層	数量	舗舗	接	面積	車道 歩道		m^2	横断函	国渠数	箇所	延長	土工	橋梁	トンネル
					 		, ♥2 1 <u>年</u> 2 5	下	層	排 水	降	雨	強度			- 1	断面決定			備考			
装	連 凍 右	断: 抑:	制層	層の無		- 自 歩	道の舗装				流	出	係 数	路面		- 1	根拠		 	- 横			
主要																							
線	測			点																			
形	縦断	勾		配																			
概	線形	距		離																			
要	平	面	線	形																			

ボックスカルバート詳細設計調書(その1) (1/4)

1. 一般事項

業	Ž	努		名							
施	Ī	設		名							
路	ň	線		名							
所	ī	玍		地							
事	務	戸	斤	名							
受	託	幸	首	名							
照	查	支	術	者							
主	任	支	術	者							·
設	計	丰	月	目	平成	年	月	日			

2. 設計条件

				用	途	区	分	道路	•	水路	٠ -	そ	の他()	適	用	基	準	等
				構	造	型	式	一連ポ	ックン	ス・	• =	連才	ボックス										
				製	品	区	分	工場製	品	· ‡	易所打	「ち											
				標	準	設	計	有	•		無	標	準設計	図	NO.								
				内	空			一道	<u>i(</u> _	連左	<u>:</u>)		(<u>_</u> ;	重右)									
基	本	構	浩	寸	<i>)</i> 4-	ф	畐				m				m								
45	7.	11.1	Æ			高	$\overline{}$				m				m	Щ							
				総	亙	<u>E</u>	長	L=				n		分	割	数	n=						
				斜			角	左口		0	,		"	右口		0	,	,,					
				縦				i=			9	6	すべ	り止	め	有	•	無					
				設	計:	上 初	支り	$H_D =$			n	n	単 位	重	量	$\gamma =$		N/m^3					
				水			位	$H_W =$			n	n	内 部	土	砂 F	$I_S =$		m					
基	礎	-	工	型			式	直接	• 置	換	· 杭	Ĺ*	杭 種	• 杭	径								
				土:			質						N			N=							
支	持	地	盤	単	位	重	量	$\gamma =$				_	内部層		_	$\phi =$		0					
				粘	衤	旨	力	C=			N/	m³	許容师			Q =		N					
使	用	材	料	コン	/ ク	リ -	ート	設計劃	長準:	強度	σο	ck=		ĺ	N/mm	2							
	711	JA1	11	鉄			筋	SD29	5	•	SD34	5											

注:*は基礎工設計調書を参照のこと。

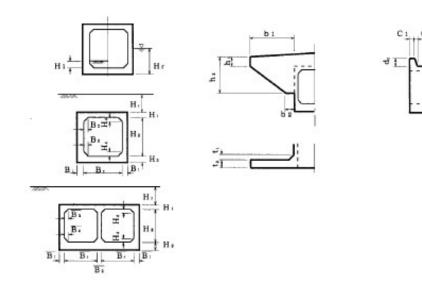
注:適用基準等欄の記載例

道示 I-1~2 (適用基準短縮名-記載頁)で表示する。

ボックスカルバート詳細設計調書(その2) (2/4)

3. 形状寸法データ

	$H_{\rm r}$	m		m				
	H_1	m		m				
本 体	H_2	m		m				
	H_3	m		m				
	H_4	m		m				
	2	左口左側	2	左口右側	7	占口左側	7	占口右側
	b_1	m	b_1	m	b_1	m	b_1	m
	b_2	m	b_2	m	b_2	m	b_2	m
ウインク゛	h_1	m	h_1	m	h_1	m	h_1	m
	h_2	m	h_2	m	h_2	m	h_2	m
	t_1	m	t_1	m	t_1	m	t_1	m
	t_2	m	t_2	m	t_2	m	t_2	m
	7	左口左側	7	左口右側	7	占口左側	7	占口右側
土留壁	C_1	m	C_1	m	C_1	m	C_1	m
上田至	C_2	m	C_2	m	C_2	m	C_2	m
	d_{H}	m	d_{H}	m	d_{H}	m	d_{H}	m



ボックスカルバート詳細設計調書(その3) (3/4)

4. 部材応力度

7. Hh/h	7心刀度	۷														
						寸	法	図				設	計	立 置	図	
概		要	図									j 0		7	左侧	在侧
部			材	頂		版	側		壁	底		版	ウ	イ	ン	グ
設	計	· 1	立 置	1	2	3	4	5	6	7	8	9	左口左側	左口右側	右口左側	右口右側
断		面	図													
딺		M	N•m/m													
断面力		N	N/m													
力		S	N/m													
鉄	必	要	cm ²													
	最	小	cm ²													
筋	設	計	cm^2													
	鉄 間	筋径隔	mm													
量	か	ぶ り	mm													
	設	σc	N/mm2													
応	計	σς	N/mm2													
	値	το	N/mm2													
力	許	σса	N/mm2													
度	容	σ sa	N/mm2													
	値	τоа	N/mm2													
	計計		書・頁													
設	計	図 •	番号													

ボックスカルバート詳細設計調書(その4) (4/4)

モ	_	メ	ン	<u>۲</u>	図	鉄	筋	組	合	せ	図		鋼	材	の	カュ	Š	り	図	

擁壁工詳細設計調書(その1) (1/4)

1. 一般事項

,											
業	Ž	務	4	名							
施	Ī	設	4	名							
路	Ĭ	線	4	名							
所	7	在	ţ	也							
事	務	所	r 4	名							
受	託	者	i 4	名							
照	査 :	技行	術 す	者							
主	任	技	術 ネ	者							
設	計	年 ,	月日	╕	平成	年	月	日			Ö

1. 一般事項

項	田	単位	裏i	込 :	土 砂	支	持	地	盤	1	般	土	砂
単	位 重 量 (τ)	N/m^3											
粘	着 力 (C)	N/m^2											
せ	ん断抵抗角(φ)	度											
変	形 係 数 (Eo)	N/m^2											
変	形係数算出方法	1											
<u> </u>	軸 圧 縮 強 度 (qu)	N/m^2											

2. 構造条件

擁	壁	型	式		適	用	基	準	等
設	置	区	分	背面盛土 ・ 背面切土 ・ 橋梁等取付 ・ その他()					
製	品	区	分	工場製品 ・ 場所打ち					
標	準	設	計	無 • 有 標準設計図No.					
基	礎	型	式	直接・置換・ 杭* 杭種・杭径					
盛	土	高	さ	Ho= m 法 面 勾 配 N=					
эт:		l±1	Ú	上載分布荷重 P= N/m ²					
浮り	力考	慮 位	置	Hw= m 突 起 無 ・ 有					
コン	′クリ`	一ト強	度	σ ck= N/mm ²					
鉄	筋	材	質	SD295 • SD345					
設ま	≒ →	平震	主	地域別補正係数 12 地盤別補正係数 12=					
HX I	11 /10	1 /120	: //	Kh= ν_1 · ν_2 · 0.15 =					
地	, L			土 質 層 厚 平 均 N 値					
	身	§ 1	層						
盤	第	§ 2	層						
租	資	₹ 3	層						
月別	身	§ 4	層						
液	状イ	匕 判	定	有・無					

注:適用基準等欄の記載例

道示 I -1~2 (適用基準短縮名 - 記載頁)で表示する。

注:*は基礎工設計調書を参照のこと。

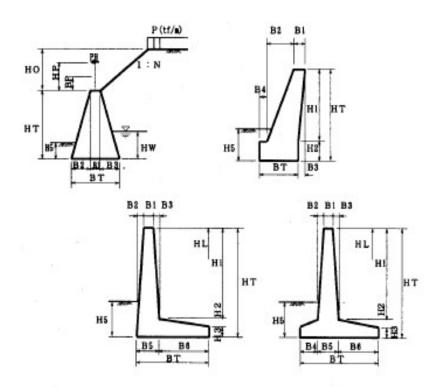
4. 形状寸法データ

擁 壁	延 長	TL=	r	n 前面	上砂高	Н	S=	m	
防護柵伯	作用荷重	PH=	N,	/m 作用	位 置	Н	P=	m、BP=	m
		HT	H1	H2	Н3				
断 (大	面	m	m	m		m			
(大	側)	BT	В1	B2	ВЗ		В4	В5	В6
		m	m	m		m	m	m	m
		HT	H1	H2	Н3				
断	面	m	m	m		m			
(小	側)	BT	B1	B2	ВЗ		B4	В5	В6
		m	m	m		m	m	m	m

5. 安定計算結果

			直	接	基	€ 1	濋	安	定	計	第	Ĺ	結	果	総	括	表			
ケ		_			ス	Ė	ř					時	Ê	地			震		時	Ê
浮					力		有		無		許	容	値	7	有		無	許	容	値
偏	心	量	(C))	(m)						В/	6=						В	/3=	
滑	動	安		全	率							1.5							1.2	
最力	大地型	路反.	力度	ŧ(N/	m ²)															
鉛ⅰ	直 支	持力	力 ((Q)(N	/m)															

		杭	基	礎	安	定	計	算	結	果総	括 表	
ケ	_	-		ス	常				時	地	震	時
浮			-	カ	有		無	許	容 値	有	無	許 容 値
杭反	頭押	込	(N/ 本)								
反	力引	抜	(N/ 本)								
水	平 変	位	(mr	n)	·				·			



6. 部材応力度

6. 部	才応力度	٤																						
						7	-		法		3	₫					詑	л Х	計	位	置	図		
概	E	EE C	図																	接趾	基部・安起	m		
部			材		竪							昼	É			7	フ	- 5	チン	グ		突		起
設	計	位	置	基部				基部より		m		基部より		m	前			趾	後		趾			
荷	重	状	態	常	時 地	震	時常		寺地	震	寺常	時	地	震時	常	時	地	震 時	常	時力	也震時	常	時 地	震 時
断	Ī	面	図																					
断	N	Л	N•m/m																					
断面力		V	N/m																					
<i></i>		3	N/m																				\bot	
鉄	必	要			_		_													_			+	
	最設	<u>小</u> 計	+		+				_		_									_			-	
筋		5 径			+						+												+	
	間	温 温			+																		-	
量		ぶ り	+																					
-4-	設	σ ο	N/mm ²																					
応	計	σs	N/mm ²																					
力	値		N/mm ²		_																		\perp	
	許		N/mm ²		+		_		\perp		_									_				
度	容		N/mm ²		+				+		+									_			-	
設計	<u>値</u> ・計	τ oa 算 書	N/mm ² ・ 頁		+				+		+									\dashv			+	
	計 図		番号		+				+		+									\dashv			+	
P/\	., 144		., ·,												1									

	モ	<u>_</u>	メ	ン	<u>۱</u>	図		鉄	筋	組	合	せ	図		鋼	材	の	カュ	ぶ	り	図	
\Box														1								

基 礎 工 詳 細 設 計 調 書 (そ の 1) (1 / 3)

1. 一般事項

業	務	名	事	務	j	折	名				
施	設	名	受	託		者	名				
路	線・河	川名	照	查扌	支 徘	方 者	名				
所	在	地	主	任	技	術	者				
左	右 岸	の別	作	成	年	月	日	平成	年	月	日

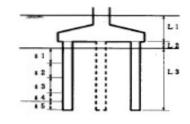
2. 基本事項

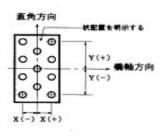
杭	群・	~	の		M			N			Н	ł		施	工偏	心厶	M	適	用	基	準	等
作	用		力		N	J•m		N	•m			N	•m				N•m					
	基			基	礎	型	式	径(ま)	たは	短辺	×長	長辺)	基		礎		長					
	礎								m	×		m					m					
	工			頭	部	処	理	施	エ	ナ	j	法	先	端		処	理					
	形																					
	態			底 版	の植	入	深さ	突		出		長	有	効	根	入	. 長					
	165			L1=			m	L2=				m	L3	}=			m					
	地			11=			m	12=				m	13	=			m					
	層			N1=				N2=					ΝS	3=								
	区 分			14=			m	支	寺	層	地	盤	15	=			m					
				N4=									NS									
	基			鉄 筋	材質	[]	ンクリ	ート強	度	杭	材	<u>†</u>	質	腐	1	E	代					
	基 本 デー			75 00 \	17 1 81 N	+	ek=	N/ı	mm^2		_						mm					
	ا ع			杌 頭 հ	直	変	形	係	数	バジ		(f) KH=		N/m	3 KV=		N/m					
	···)=			定数	(*)	4) KH=			3 KV=		N/m					
	\geq	_	_	許容支	を持力	(押)	込) 許	容支持	力(引抜) 許	容支	持	力(水	平)	変	位					
安		(常)									\perp											
定		(地)																				

3. 基礎工配置データ

	No.	距	離	(X)	奥行方向の本数
軸	1				1	n	本
方	2				1	n	本
向	3				1	n	本
杭	4				1	n	本
配	5				1	n	本
置	6				1	n	本
デ	7				1	n	本
1	8				1	n	本
タ	9				1	n	本
	10				1	n	本

	No.	距离	惟(X)	奥行方向の本数
軸	1				m	本
直	2				m	本
角右	3				m	本
方向	4				m	本
杭	5				m	本
配	6				m	本
置デ	7				m	本
ĺ	8				m	本
タ	9				m	本
	10				m	本





杭配置図を記載する。

注:適用基準等欄の記載例

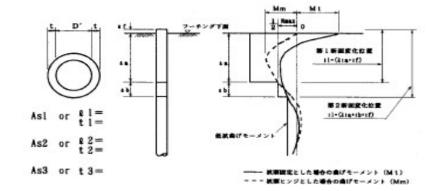
道示 I -1~2 (適用基準短縮名 - 記載頁)で表示する。

基 礎 工 詳 細 設 計 調 書 (そ の 2) (2 / 3)

軸方向

計		算	ケ		ス	名	単位	常	時	地	震	時			考
βI		升	. 9			70	中世						'VĦ		47
	杭	偏	心	量		С	m						設計計算書	Р	
安	頭	全	鉛直	力		ΣV	N						設計図番号		/
جے ا	外力	全	水平	力		ΣΗ	N/mm²								
定	73	偏.	心モーメ	ント		ΣΜ	N m								
計		右 i	頭変位量	水平変位		δх	mm						設計計算書	Р	
算	及上	-		鉛直変位		δу	mm						設計図番号		/
	変	水	平力	1 本 7	あた	<u>-</u> り	N								
及	位	杭	反 力	前列	Р	Nmax	N/本								
び	上			俊 列	Р	Nmin	N/本								
杭	力	最	大曲げ	杭 頭 部		Mt	N m						設計計算書	Р	
			ーメント	地中部]	Mm	N m						設計図番号		/
の	杭	鉄	筋	Nmax		σс	N/mm ²						設計計算書	Р	
計	体	ま	たは	- 1111671		σs	N/mm ²				\perp		設計図番号		/
	心力			Nmin		σс	N/mm ²								
算	/ 3	板	厚			σs	N/mm ²								
結	許	容	支 持 力	鉛直			N/本						設計計算書	Р	
果	н	Н	<i>y y</i>		友	力	N/本						設計図番号		/
木	許	容	応力度	圧 縮力			N/mm ²						設計計算書	Р	
			, , , , ,	引張」			N/mm ²						設計図番号		/
	垂直	直支	区圧応力度		生	値	N/mm ²						設計計算書	Р	
杭					容	値	N/mm ²						設計図番号		/
頭	押				生	値	N/mm ²						設計計算書	Р	
部			新応力度		容	値	N/mm ²						設計図番号		/
計			き		生	値	N/mm ²						設計計算書	Р	
算	せ	んり	新 応 力 度		容	値	N/mm ²						設計図番号		/
	水≦	平支	圧応力度		生	値	N/mm ²						設計計算書	Р	
果					容	値	N/mm ²				_		設計図番号		/
木			が向押抜き		生	値	N/mm ²						設計計算書	Р	
	せ,	んり	断応力度	許	容	値	N/mm ²						設計図番号		/

_						Mr.	n.l.	t.ef.	-	n.1.			
計	算	ケー	ス	名	単 位	常	時	地	震	時	備		考
/ 	使	用鉄	筋	量	cm^2						設計計算書	Р	
仮	発	圧縮点	5 力	度	N/mm^2						設計図番号		/
想	生	引張点	5 力	度	N/mm^2								
R C	値	せん断	応 力	度	N/mm^2								
断	許	圧縮点	5 力	度	N/mm^2						設計計算書	Р	
面	容	引張点	5 カ	度	N/mm^2						設計図番号		/
ш	値	せん断	応 力	度	N/mm^2								
	水	使用銷	失 筋	量	cm^2						設計計算書	Р	
ケ	平	圧縮に	、力	度	N/mm^2						設計図番号		/
	方	引張点	、力	度	N/mm^2								
	向	せん断	応 力	度	N/mm^2								
ソ	縦	使用銷	失 筋	量	cm ²						設計計算書	Р	
	方	圧縮に	、力	度	N/mm^2						設計図番号		/
ン	//	引張点	5 カ	度	N/mm^2								
基	向	せん断	応 力	度	N/mm^2								
TH:	許	圧縮応	;力	度	N/mm²						設計計算書	Р	
礎	容	引張応	;力	度	N/mm²						設計図番号		/
	値	せん断	応 力	度	N/mm^2								

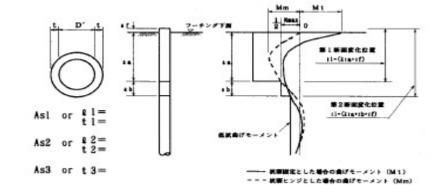


基 礎 工 詳 細 設 計 調 書 (そ の 3) (3 / 3)

軸直角方向

計		算	ケ	_	ス 名	単位	常	時	地	震	時	備		考
	杭	偏	心	量	С	m						設計計算書	Р	
安	頭	全	鉛直	力	ΣV	N						設計図番号		/
	外力	全	水平	力	ΣΗ	N/mm²								
定	力	偏	心モーメ	ント	ΣΜ	N m								
計		村	頭変位量	水平変位	δx	mm						設計計算書	Р	
算	反力	19L.	央 及 匹 里	鉛直変位	δу	mm						設計図番号		/
	変	水	平力	1 本 ま	かたり	N								
及	位	杭	反 力	前列 I	P Nmax	N/本								
び	生			後 列 I	P Nmir	N/本								
44	力	最	大曲げ	杭 頭 部	Mt	Nm						設計計算書	Р	
杭			ーメント	地中部	Mm	N m						設計図番号		/
の	杭	鉄	筋	Nmax	σс	N/mm ²						設計計算書	Р	
計	体	ま	たは	TVIIIGA	σs	N/mm ²						設計図番号		/
	応力			Nmin	σс	N/mm ²								
算	//	板	厚		σs	N/mm ²								
結	許	容	支 持 力	鉛直引		N/本						設計計算書	Р	
果	н		<i>y y</i>	引表		N/本						設計図番号		/
木	許	容	応力度	圧 縮 Д		N/mm ²						設計計算書	Р	
	н			引張师		N/mm ²						設計図番号		/
	垂ī	直支	区圧応力度	発生		N/mm ²		<u></u>				設計計算書	Р	
杭				許 名		N/mm ²				_		設計図番号		/
頭	押			発 生		N/mm ²						設計計算書	Р	
部			新応力度		-	N/mm ²						設計図番号		/
計			き	発 生		N/mm ²		<u> </u>				設計計算書	Р	
算	せ	んぱ	断応力度	許 豕		N/mm ²						設計図番号		/
	水≦	平支	圧応力度	発 生		N/mm ²		<u> </u>	ļ			設計計算書	Р	
果				許 奢		N/mm ²						設計図番号		/
本			が向押抜き	発 生		N/mm ²		<u> </u>	ļ			設計計算書	Р	
	せ	んぱ	断応力度	許 名	字 値	N/mm ²						設計図番号		/

_				I				. 1			
計	算	ケース名	単位	常	時	地	震	時	備		考
/ <u></u>	使	用鉄筋量	cm^2						設計計算書	Р	
仮	発	圧縮応力度	N/mm ²						設計図番号		/
想	生	引張応力度	N/mm²								
R	値	せん断応力度	N/mm^2								
断	許	圧縮応力度	N/mm^2						設計計算書	Р	
而	容	引張応力度	N/mm^2						設計図番号		/
ш	値	せん断応力度	N/mm^2								
	水	使用鉄筋量	cm^2						設計計算書	Р	
ケ	平	圧縮応力度	N/mm²						設計図番号		/
l,	方	引張応力度	N/mm²								
	向	せん断応力度	N/mm²								
ソ	縦	使用鉄筋量	cm^2						設計計算書	Р	
	方	圧縮応力度	N/mm^2						設計図番号		/
ン	//	引張応力度	N/mm^2								
基	向	せん断応力度	N/mm^2								
744	許	圧縮応力度	N/mm²		_				設計計算書	Р	
礎	容	引張応力度	N/mm ²						設計図番号		/
	値	せん断応力度	N/mm^2								



平面交差点詳細設計

基本条件の照査項目一覧表

(照	査	(1))

業務名	
発注機関	

受託者名:

照査の日付:

	総括監督員	主任監督員	監督員
発注者印			

印	

	主任技術管理者	担当技術者	照査技術者
受注者印			

〔道路詳細設計と重複するものは、照査の必要ない〕

平面交差点詳細設計

	H M M M C 王 IX / O O V I	5(加重型温度等)	一旦久足然时福龄时
No	項目	主な内容	提示資料 照査① 照査の 備 考 対象 照査 日付 照査結果・補足資料等の記載
1	設計の目的、主旨	1) 目的、主旨を理解したか。2) 地域構想等に関する上位計画を把握したか。3) 設計の内容、範囲、工程等について具体的に把握したか。	業務計画書
2	資料の収集、確認 (1)予備設計に関する資	1) 予備設計の計画は適正か。2) 貸与資料の不足、追加事項があるか。3) 事務所、路線毎に統一された基準要領があるか。	業務計画書 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
3	現地踏査結果	 1)地形、地物、現地状況を把握したか。 2)交通状況、道路状況、河川状況を把握したか。 3)交差道路の規制状況を確認したか。 4)沿道の環境状況(日照、騒音、振動等)を把握したか。 5)支障物件の状況を把握したか。(地下埋設物を含む) 6)大規模交通発生施設、歩行者の動線を把握したか。 7)施工時の留意事項を把握したか。 	現場写真他 "" 業務計画書 "" "" ""
4	設計条件	 道路の構造、規格は適正か。 交差点の設計速度は適正か。 交差点形状は適正か。 平面交差の間隔は適正か。 方向別交通量は適正か。 交差点制御方法は適正か。 設計車両は適正か。 積雪寒冷地の適用は適正か。(幅員、除雪スペース等) 歩行者の動線は適正か。 関連する設計と整合がとれているか。 	業務計画書 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
5	幾何構造	 平面及び縦断線形は適正か。 幅員構成は適正か。 視距、見通し距離は適正か。 付加車線の設置は適正か。 交差角は適正か。 本線シフトは適正か。 隅切りは適正か。 	報告書 " " " 設計図書 " "

〔道路詳細設計と重複するものは、照査の必要ない〕

平面交差点詳細設計

	各詳細設計と重複するもの(よ、思生の心をない。	
No		主 な 内 容	提示資料 照査① 照査の 備 考 対象 照査 日 付 照査結果・補足資料等の記載
6	用地条件	1) 用地巾杭表はあるか。	設計図書 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
7	関連道路 (側道、副道、取付支	 主、従道路の優先関係は明確となっているか。 副道等の取付方法は適正か。 従道路の整備は適正か。 	報告書 設計図書 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
8	交通制御と交通処理	 信号現示と交差点飽和度は適正か。 交差点交通容量は適正か。 交通処理方法は適正か。 横断歩道及び停止線位置は適正か。 バス停留所の位置、停車帯の形状等は適正か。 沿道からの出入り箇所は適正か。 	報告書 " " 設計図書 " "
9	計画条件の整理	1) 土工及び法面工の設計は適正か。(道路詳細設計との整合)2) 小構造物及び構造物の設計は適正か。(道路詳細設計との整合)3) 用、排水工の設計は適正か。(道路詳細設計との整合)4) 舗装工の設計は適正か。(道路詳細設計との整合)	報告書 設計図書 □ □ ッ 報告書 □ □
10	協議調整事項の確認	1) 関係諸官庁、諸機関及び地元との協議調整事項は設計に反映されているか。	関係機関との協議
		2) 協議条件と一致しているか。	設計図書 □ □ □
11	環境及び景観検討	1)環境及び景観検討の必要性、範囲、コンセプトが理解されたか。2)環境及び景観検討の具体的方法、作成すべき資料等は明らかとなっているか。	報告書 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

(追加項目記入表)[道路詳細設計と重複するものは、照査の必要ない] 平面交差点詳細設計 照 査 ① | 照査の 考 内 提示資料 項 目 主 な No 対象 照査 日 付 | 照査結果・補足資料等の記載

平面交差点詳細設計

細部条件の照査項目一覧表 (照査②)

<u>業務名:</u>	
発注機関:	

受託者名:

照査の日付:

	総括監督員	主任監督員	監督員
発注者印			

	 -
印	

	主任技術管理者	担当技術者	照査技術者
受注者印			

〔道路詳細設計と重複するものは、照査の必要ない〕

平面交差点詳細設計

	詳細設計と重復するもの	は、思重の必要なり								
No	項目	主	な	内	容	提示資料	照 3 対象	至 ② 照査	照査の 日 付	
1	協議関連	1) 協議は諸条件と	合致しているか)7 ⁰		設計図書				
2	施工計画	1) 工区分けは適正 2) 施工性に問題は 3) 暫定施工の考え 4) 現道交通確保の	ないか。 方に問題はな	といか。	9)	報告書 " " "				
3	設計計算	1) 交通処理能力に 2) 用、排水の系統。			か。	設計計算書				
4	数量計算	1) 数量算出要領に	より確認を行っ	ったか。		数量計算書				
5	詳細検討	1) 中央分離帯の位 2) 導流路及び適子 3) 路面表示は適正 4) 付加車線明、交近 6) 交通制ので近 7) 積雪寒細ので近 8) 道工及が動と 9) 土工構造物及び構 11) 用、排水工の設 12) 舗装工の設計は 13) 用地幅は適正か	の巻き込みは か。 元は適正か。 通管理施設差が 接する適正かでを を合はとれでいる をおいている がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある	で全施設等の記との整合はとないるか。 こか。(道路詳細では、 道路詳細設計 との整合はとない。 は適正か。(道路詳細設計との とは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	れているか。 細設計との整合) 各詳細設計との整合) -との整合)	設計図書 """ 報告書 """ """"""""""""""""""""""""""				
6	環境及び景観検討	1) 環境(騒音、振動 2) 景観(植裁等)性		妥当か。		報告書 "				

(追加項目記入表)[道路詳細設計と重複するものは、照査の必要ない] 平面交差点詳細設計 照 査 ② | 照査の 考 内 提示資料 項 目 主 な No 対象 照査 日 付 | 照査結果・補足資料等の記載

平面交差点詳細設計

成 果 品 の 照 査 項 目 一 覧 表 (照 査 ③)

|--|

発注機関:

受託者名:

照査の日付:

	総括監督員	主任監督員	監督員
発注者印			

印	

	主任技術管理者	担当技術者	照査技術者		
受注者印					

「道路詳細設計と重複するものは、照査の必要ない」

平面交差点詳細設計

し追路	·詳細設計と重複するもの(は、照金の必要ない。				<u>-</u>	P. 由交差点詳細設計
No	項目	主な内容	提示資料	照 查(報告書査掲載箇所	照査の 日 付	備 考 照査結果・補足資料等の記載
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。2) 計算結果は交通処理能力を満たすか。3) 用、排水の流出量と通水量を照査したか。(道路詳細設計との整合)	設計計算書 " "]		
2	設計図	 縮尺は契約図書と整合しているか。 打合せ事項は反映されているか。 全体一般図に必要な事項が記載されているか。 表現方法は適正か。 解り易い注記がついているか。 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 	設計図書 " " " "		1 		
3	数量計算書	 数量計算は数量算出要領及び打合せ事項と整合しているか。 (有効数字、位取り、単位、区分等) 数量計算に用いた寸法、記号は図面と一致するか。 数量取りまとめは、数量算出要領及び打合せ事項にあわせてまとめられているか。 	数量計算書 " "				
4	施工方法の検討	1) 施工時の道路、河川等の切り廻し計画は適正か。2) 工事用道路、運搬路計画は適正か。3) 施工ヤード、施工スペースは確保されているか。4) 安全性は配慮されているか。5) 暫定計画、完成計画との整合はとれているか。	施工計画書 " " " "		ī		
5	設計調書	1) 設計調書の記入は、適正にされているか。 2) マクロ的(設計条件、幾何構造基準等)に見て問題はないか。	設計調書				
6	報告書	 打合せ事項は反映されているか。 条件設定の考え方が整合しているか。 比較、検討の結果が整合されているか。 工事発注に際しての留意事項が記述されているか。 設計基準値を技術指針等より引用している場合には出典図書名及びページを明記しているか。 	報告書 " " " "				

〔道路詳細設計と重複するものは、照査の必要ない〕

平面交差点詳細設計

〔道路	詳細設計と重複	するものに	は、照査の必要ない〕								7	<u>五面交差点詳細設計</u>
No		目	主	な	内	容	提示資料	照金社会	≦ ③ 昭本	報告書	照査の	備 考 照査結果・補足資料等の記載
7	建設副産物		1) リサイクル計画	書を作成してい	るか。		リサイクル計画書			16月14月日7月	מן נו	然且和宋·附及具件等006载
8	 TECRISの登録	1. K	1) TECRISの登録	录を行ったか。			業務カルテ受領書					
	TECHO V		1) 112CIGO V M. #	4511 21CV 0								

成果品の照査項目一覧表(様式-3) (追加項目記入表) [道路詳細設計と重複するものは、照査の必要ない]

亚而农美占詳細設計

平面交差点詳細設計調書(その1) (1/2)

1. 計画概要

Ι.	当一世	叫你玩 :	安																			
業	產	务	名																			
所	<i>t</i>	E	地																			
事	務	所	名																			
受	託	者	名																			
作	成年	F月	目	平	成			年			月		日									
事	業	区	分	点	(交	差点	į)	•	線((道)	各)	• 直	j(地:	域)	の	改	良	•	新設	((○印)	
全	体	計	画								km	今	·回言	十画	(内数	汝)						km
				事	業	衤	音	手						年		-	月					
				用:	地質	夏 収	期	間	(子)	定)				年			月	\sim		年		月
事	業	計	画	エ	事	衤	盲	手	(子)	定)				年			月					
				工	事	É	己	了	(予)	定)				年			月					
				供	用	厚	閛	始	(予)	定)				年			月					
				主	道	路																
道	D.	各	名	主	道	路																
坦	ľ	台	石	従	道	路																
				従	道	路																
				主	従	道	路	12°	Λ	設	計;	速 度	最	急	縦	断	最	小	曲絲	標:	準横	断面
				の	別	坦	岭		刀	((km/	h)	勾	配	(%	6)	勾	配	(m)	構	成	(m)
				Ì	È		種		級.				<u> </u>							全	:幅	m
					_				-				\bot			_						
道構		络 • 規	のぬ	Ē	È		種		級											- 全	幅	m
11.1	<u>~</u> □	/96	ТП		\dashv				\dashv				+			-						
				ŧ			種		級.											全	幅	m
				î			種		級.												·····································	m
					T.		7里		/19/X												.17田	111
標	準横	断面	ī図																			
主																						
従																						

※下段は適用基準等、発行年月日と適合ページを記入する。

2. 交差点計画

	C/II/MPT																					
交	差	点	名	通称•	番号	子・記号	等															
交設		点	部	交差	点制	御方治	失(信号	計制行	卸	•	-	一時	停』	<u>-</u>)						
設	計	計	画	_ M		計車両	交身	医点角	寸近	交	差点	(付:	近横	断	曲			径	芯	差	ム	庇
				の別	(((印)	の部	计计	東度	勾	配・	区	間距	離		(1	m)		文	圧	円	泛
				主																		
				工.		型車通車																
				従		世 早ミトレ																度
				1/2		, ,				[及
				右 左	折	. 車	通行	方方	法	導	流	路	曲	線	半	径	(m)	導	流足	各幅	員	(m)
				方面な	N &	右 折				外	側			内	側							
			主	カ画へ	40	左折				外	側			内	側							
		-	土.	方面な	7.	右 折				外	側			内	側							
				ク画な	40	左折				外	側			内	側							
				方面な	7	右折				外	側			内	側							
		١,	従	27 田 ~	ر.٠٠	左折				外	側			内	側							
			J.C.	方面な	7.	右 折				外	側			内	側							
				27 ഥ ペ		左 折				外	側			内	側							
交	通		量				主										従					
~	,111		*																			
	• 現		況																			
	・予		測																			
		種	別																			
		向	別																			
		行	者																			
	特異2	交通	流等																			
							主										従					
				計画		有	•	無		O FI		計	画		丰		•	無	無)印	
				右 折		左 折				O FI		右	折		左			線)印	1)
付	加	車	線	付加車	線() の ₃		Ė			付力	加車	線() O					
設		計	画		(有	•	無)					(丰	Ī	•	#	無)		
150				滞留長							m	滞情	留長									m
				テーハ゜ー			線長)				m		ハ゜ー			車;	線長	(-)				m
				付加車									加車									m
				本線シ	フト	区間長					m	本組	線シ	フト	区間	長						m

平面交差点詳細設計調書(その2) (2/2)

3. 道路管理者所管の交通安全施設等の計画

5. 是站台里1//1日 5 人是头上地散 1 5 时日
視線誘導標 (有・無) (交差点部・計画区間全線)
道路照明 (有・無) (交差点部・計画区間全線)
防 護 柵 (有・無) (交差点部・ 計画区間全線)
(歩車道境界 ・ 路外境界線)
歩 道 (有・無) (両側・片側)(歩車道境界プロックの高さ cm)
(マウントアップ・フラット)
・ 計画区間内のバス停留所の有無 (有 ・ 無)
・ 交差点付近のバス停留所の有無 (有 ・ 無)
・バス停留所の有無(有 ・ 無)・必要性の有無(有 ・ 無
・バス停留所の位置の適否(交差点 流出側 ・ 流入側
(見通し 良・不良
通 学 路 通学路の指定 (有・無) 将来の可能性 (有・無)
そ の 他

注:道路照明、バス停、通学路の位置等は、図面上に正確に図示すること。

4. 交通規制計画

線	の	規	制	主	現	況				事	業 後				
形化	0)	况	巾リ	従	現	況				事	業後				
点	の	規	制	主	現	況				事	業後				
\m\	0)	乃兄	T)	従	現	況				事	業 後				
				交	差	店	名								
				概 i	殳 信	号	機			(有	•	無)	
				信号	運	用状	況	三	色	(時間		\sim)
信	F	<u>⊒.</u> J	機					点	灯	(時間		\sim)
								滅	灯	(時間		\sim)
				移設、	増灯	の必	要性			(有	•	無)	
				新 設	(D	必 要	性			(有	•	無)	
横	新步	道.	自												
転	車板	黄断	帯												
そ	0)	他									, and the second			

. 事業計画上の問題			

コ ス ト 縮 減 調 書 (/)

事業名	委託者名			
路河川名	照査技術者			
施工箇所	主任技術者			
発注事務所名	設計段階	概略設計	予備設計	詳細設計

		概	要		横	断	図	等	
	従								
主	来								
	ェ								
な	法								
⊐	Ιп	概算工事費	千円						
	尺片	概	要		横	断	図	等	
ス									
	設								
١	計								
	ェ								
縮	法								
減		概算工事費	千円						
 	コスト縮減額		具体的縮減番号						
策	NETIS登録番号		工法名						
	参考)	文献、基準等							

NETISホームページ	httn://www	kangi ktr mlit g	o in/Rene	ewNetis/Index asn
-------------	------------	------------------	-----------	-------------------

	ロスト縮減内	容(具体的に	記入)					
そ								
~								
<u> </u>					縮減額	千円	具体的縮減番号	
の	コマト統計力	容(具体的に	·=== 1, \		ALIH WAY HAV	1.14	SCLUSTINA EL 2	
	ログト相がとい	谷(呉冲印ル	.記人)					
他								
縮								
/PIID						T	1	T
٠					縮減額	千円	具体的縮減番号	
減	ロスト縮減内	容(具体的に	記入)					
			, ,					
策								
					○☆ ン☆! ☆ ろ	-tm	只 什的统法采口	
<u></u>					縮減額	十円	具体的縮減番号	
	次段階コスト縮減検討・提案内容(詳細設計・施工)					i e		
次	次段階コスト	·縮減検討·掼	是案内容(韵	牟細設計・施コ	匚)	関連する事項、問	題点等	
段	次段階コスト	·縮減検討・携	是案内容(詳	羊細設計・施コ	匚)	関連する事項、問	題点等	
	次段階コスト	縮減検討・携	是案内容(訂	⊭細設計•施□	工)	関連する事項、問	題点等	
段 階	次段階コスト	縮減検討・携	是案内容(訂	詳細設計・施コ	Σ)	関連する事項、問	題点等	
段階検	次段階コスト	縮減検討・技	是案内容(訂	羊細設計・施□	Ε)	関連する事項、問	題点等	
段階検討	次段階コスト	縮減検討・携	是案内容(討	羊細設計・施□	縮減額		題点等	
段階検討事					縮減額	千円	具体的縮減番号	
段階検討				¥細設計・施コ	縮減額		具体的縮減番号	
段階検討事項					縮減額	千円	具体的縮減番号	
段階検討事項(縮減額	千円	具体的縮減番号	
段階検討事項(提					縮減額	千円	具体的縮減番号	
段階検討事項(縮減額	千円 関連する事項、問	具体的縮減番号 題点等	
段階検討事項(提					縮減額	千円 関連する事項、問	具体的縮減番号	
段階検討事項(提案	次段階コスト			¥細設計•施コ	縮減額	千円 関連する事項、間 千円	具体的縮減番号 題点等 具体的縮減番号	
段階検討事項〔提案〕			是案内容(計	詳細設計・施□	縮減額	千円 関連する事項、問 千円	具体的縮減番号 題点等	9/6
段階検討事項〔提案〕	次段階コスト			詳細設計・施□	縮減額	千円 関連する事項、間 千円	具体的縮減番号 題点等 具体的縮減番号	%
段階検討事項〔提案〕	次段階コスト		是案内容(計	詳細設計・施□	縮減額	千円 関連する事項、問 千円	具体的縮減番号 題点等 具体的縮減番号	%
段階検討事項〔提案〕	次段階コスト		是案内容(計	詳細設計・施□	縮減額	千円 関連する事項、問 千円	具体的縮減番号 題点等 具体的縮減番号	%
段階検討事項〔提案〕 集計	次段階コスト 全体工事費 特記事項	縮減検討·抗	是案内容(訂 千円	詳細設計・施コ コスト縮減額	縮減額	千円 関連する事項、問 千円	具体的縮減番号 題点等 具体的縮減番号	%
段階検討事項〔提案〕	次段階コスト 全体工事費 特記事項 ※コスト縮減	縮減検討・抵	是案内容(討 千円 は平成15年	羊細設計・施ココスト縮減額 コスト縮減額 手度とする。	縮減額二)縮減額	千円 関連する事項、問 千円	具体的縮減番号 題点等 具体的縮減番号 スト縮減率	%